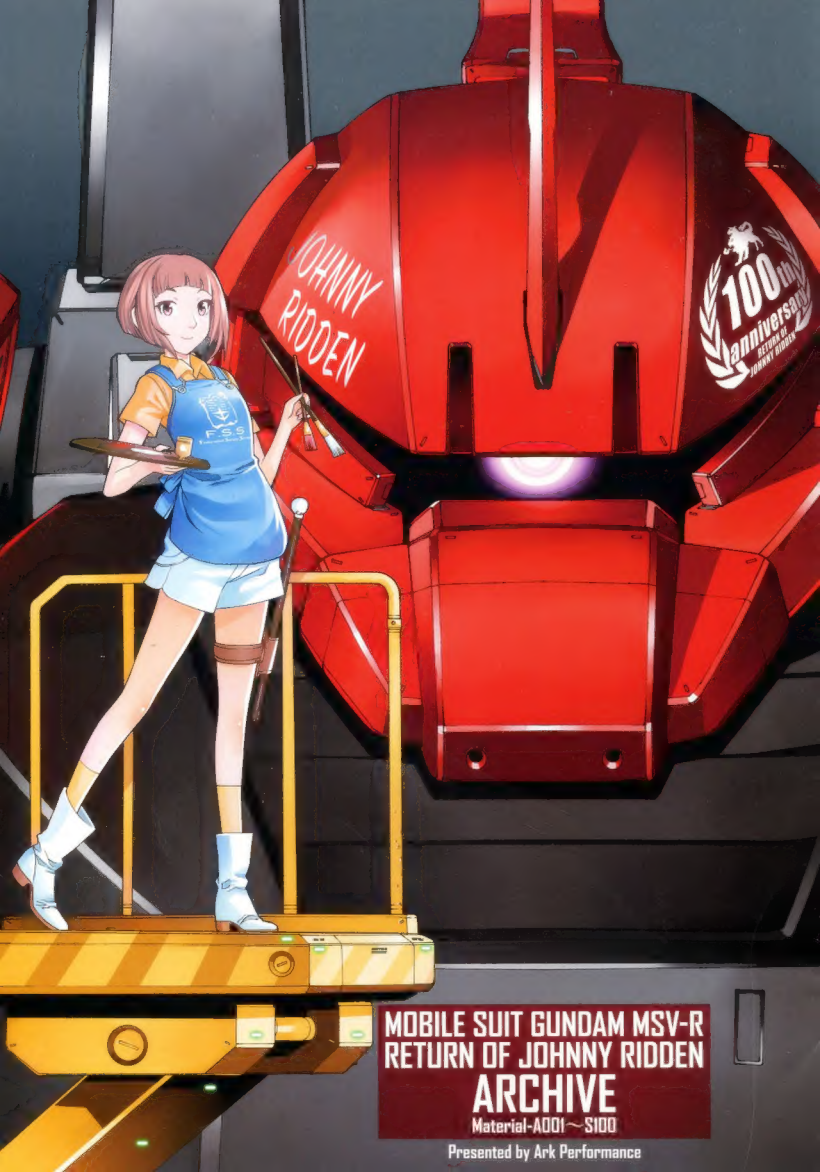


MOBILE SUIT GUNDAM MSV-R RETURN OF JOHNNY RIDDEN

ARCHIVE

Material-A001～S100

Presented by Ark Performance

MS-14J Plus(ProtoType) "GELGOOG VERTEX"

Height:unknown
Head high:21.0m
Body weight:43.7t
Total weight:unknown
Armor material: Super Hard Alloy Steel
Generator output:unknown
Thrust:unknown
Sensor effective radius:7,300m

EN GOOG

.RID EN'S BILE SUIT

MS-14J
JOHNN
Federation Sur ice

MS-14J/BR GELGOOG VERTEX JOHNNY RIDDEN'S MOBILE SUIT

ジョニー・ライデン専用 ゲルググJ/BR

アナハイム・エレクトロニクス　グラナダ工場によってロールアウトされた機体。基礎概念は「リミア・グリンウッド」が担当。実設計と開発業務は過去に「リック・ディアス」等の設計開発を行った「第2研究事業部」が関与している。シミュレーションモデルに付与されたコードネームは「MS-14J Plus」。設計と開発に割ける時間を大幅に短縮するため、過去の取引によりアナハイム・エレクトロニクスに眠るネオ・ジオン軍開発のMSである「MS-14J リゲルグ」の基礎設計をベースとした。機体本体はアナハイム・エレクトロニクスが改修・生産し非公式に旧キマイラ隊隊員へ貸与していた「MS-14BR」の先進改修機をさらにブラッシュアップ。構造をフレームから見直し、装甲素材構成を「第2研究事業部」が使い慣れているガンダリウム系へと変更している。シミュレーションモデルからの外見的な違いは背面に展開する主偏向装置アクティブ・バインダーが強化され、推力ノズルが片側2基から3基へと増設されている。これにより機動性の増強と、細やかな推力偏向性能を獲得した。

SPEC

High : Constantly changing
Head high : 19.2m
Body weight : 45.7t
Total weight : 70.7t ~ 71.7t
Armor material : Gundarium Composite
Generator output : Undisclosed
Thrust : Undisclosed
Sensor effective radius : 8800m

真紅の稲妻に与えられたゲルググの新たな頂点

「アクティブ・バインダー」

バックパック両側に装備されたアクティブ・バインダーは極めてフレキシブルに動作し、より自由な機動変更と運動性能を与えた。一説には AE 社が過去に開与した未知のガンダム開発プロジェクトの成果データが流用されていると言われているが、定かではない。

ジオン公国軍エースパイロットのひとり、ジョニー・ライデン少佐のゲルググを中心に捉えたこの写真は宇宙世紀0079年12月末、ア・バオア・クー宙域で撮影されたものと思われる。

一年戦争当時、ジオン公国軍突撃機動軍キシリア・ザビは、ヒュー・マルキン・ケルビン大佐に命じ、特別編成大隊キマイラ隊を編成させた。

ザンジバル改級「キマイラ」を旗艦とし、各部隊からエースパイロットを集めた同部隊には当時最新鋭のMSであるゲルググが配備され、MS製造プラント船ミナレットの技術者たちが各パイロットの特性に合わせたバリエーション機を数多く生み出していた。エースパイロットのひとり、ジョニー・ライデン少佐は機体を赤く染め、背面にブースターパックを装着した高機動型の改造機に搭乗し、ア・バオア・クー防衛戦に参戦したという。

同部隊のユーマ・ライトニングらと共に、多大な戦果を挙げるものの、同防衛戦の終盤に地球連邦軍のウェイライン隊に捕獲され、その後の消息はいまなお不明のままである。

ジョニー・ライデンが搭乗した主な機体

フルバレットザク

MS-14B
高機動型ゲルググ

MS-06R-2
高機動型ザクⅡ

MS-06S
指揮官用ザクⅡ

左の画像は宇宙世紀0090年に、ESSのシミュレーターマシンで実験中のG映像をキャプチャしたものである。ESS（Federation Survey Service）は一年戦争時の情報収集を目的とした組織で、テストパイロットのレッド・ウェイラインは、機体データ解析のためのシミュレーションでフルアーマー・ガンダム（タイプB）に搭乗し、キャノンタイプを含む3機のゲルググと交戦した。狙撃が不得手なレッドは事前のブリーフィングを無視し、MS小隊後方に位置する敵母艦チベ級チベ型重巡洋艦を急襲し、至近距離からの連装ビームライフルの攻撃でエンジンを破壊した。

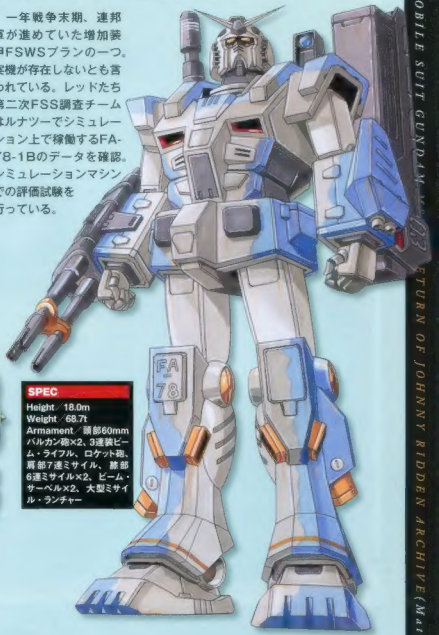
後にエンジニアのリアー・グリンウッドから、その行動を責められたが、本来「中距離爆撃」を武装コンセプトにしたフルアーマー・ガンダム（タイプB）は、旗艦への直接攻撃を得意とする対艦仕様といえる機体で、レッドは「こういう使い方が本当」と言っている。ちなみに同機はシミュレーション上のコンセプトマシンという見方が強く、実在性については疑問視されている。

MS-06A
ザクⅡ
(教導機動大隊所属機)

SPEC
Height／17.6m
Weight／56.2t
Armament／ザク・マシンガン、ザク・バズーカ、ヒートホーク、他

最も初期のザクⅡ。青色のカラーを持つMS-06Aは教導機動大隊の所属機で新人パイロットの育成に使われた。作中では元ジオン兵、ルーベンスの聴取が行われている。

FA-78-1B
フルアーマーガンダム(タイプB)



一年戦争末期、連邦軍が進めていた増加装甲FSWSプランの一つ。実機が存在しないとも言われている。レッドたち第二次FSS調査チームはルナツーでシミュレーション上で稼働するFA-78-1Bのデータを確認。シミュレーションマシンでの評価試験を行っている。

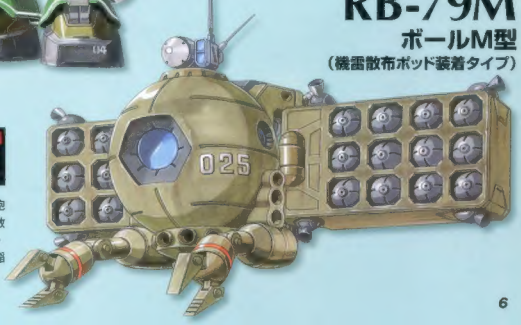
SPEC
Height／18.0m
Weight／68.7t
Armament／頭部60mmバルカン砲×2、3連装ビーム・ライフル、ロケット砲、肩部7連ミサイル、腰部6連ミサイル×2、ビーム・サーベル×2、大型ミサイル・ランチャー

MS-06G
陸戦高機動型ザク

SPEC
Height／17.5m
Weight／56.1t
Armament／シールド(固定)、ザク・マシンガン、ザク・バズーカ、ヒートホーク、ジャイアント・バズ

MS-06Jの性能向上型として開発された陸戦型ザクの最終モデル。メインエンジンとスラスター推力が高められた高機動型。レッドたちは第27管区の射撃試験場でMS-06Gをテストする予定だった。

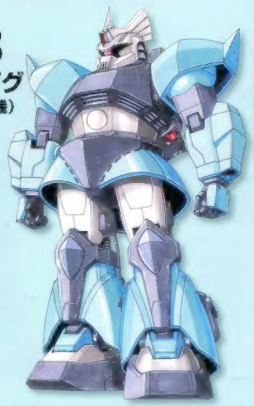
RB-79M
ボールM型
(機雷散布ポッド装着タイプ)



SPEC
Height／14.1m
Weight／32.6t
Armament／MMB-05E浮遊機雷×48

RB-79ボールの上部のキャノン砲を外し、大量の宇宙機雷を搭載した散布ポッドを装着。連邦軍のブロイ・リゲラ少尉は機雷敷設中に「真紅の稲妻」ジョニー・ライデンと遭遇する。

MS-14B
高機動型ゲルググ
（ユーマ・ライトニング機）



SPEC
Height／19.2m
Weight／56.2t
Armament／ビーム・ライフル、ジャイアント・バズ、ミサイル・ランチャー、ラッツリバー3連装ミサイル、ツイン・ビーム・スピア他

キマイラ隊の若きエース、「青き雷光」ユーマ・ライトニングの機体。 戦後、AE社の部材を使い、連邦製の兵器の運用が可能。第６環境改善プラントでは近接戦闘用に連邦のMS、ジム・ストライカーが使用したツイン・ビーム・スピアを使っている。

MS-06R-2
高機動型ザク
（ジョニー・ライデン少佐機）

SPEC
Height／17.5m
Weight／58.2t
Armament／シールド（固定）、ザク・マシンガン、ザク・バズーカ、ヒートホーク、ジャイアント・バズ

実績のあるエースパイロットに与えられたMS-06R-1高機動型ザクの性能をさらに高めた機体で総生産数はわずか４機。ジョニー・ライデン少佐はブリムス艦隊に所属時に、R2を支給された。

MS-14C-1A
高機動型ゲルググ
（ジャコビアス・ノード機）

SPEC
Height／19.2m
Weight／56.2t
Armament／ビーム・ライフル、ジャイアント・バズ、ミサイル・ランチャー、ラッツリバー3連装ミサイル、他

キマイラ隊のスナイパー、ジャコビアス・ノードの愛機。機体の左半分に識別用のインベンション・ストライプが描かれていたが、現在は左肩のみに。さら精密射撃用の三連スコープが追加された。

MS-07W
グフ複合試験型

SPEC
Height／18.5m
Weight／67.4t
Armament／シールド（固定）×2、5連装フィンガー・バルカン砲×2、ヒート剣×2、ジャイアント・バズ×2

ジオンの主力戦闘機ドップに似た小型の機体（リトル・ドップ）が変形合体。MSのコクピットになるというRX-78のコア・ブロック・システムに似たシステムを採用。ニューヤークで現存する機体の一部が公開された。

リトルドップ

MS-14B高機動型ゲルググ背面のブースターパック。レッドの機体も外見上はオリジナルと同一。

MS-14B
高機動型ゲルググ
（ジョニー・ライデン少佐機）

SPEC
Height／19.2m
Weight／56.2t
Armament／ビーム・ライフル、ジャイアント・バズ、ミサイル・ランチャー、ラッツリパー3連装ミサイル、ビーム・ナギナタ他

MS-14の高機動型で増速用のブースターパックを装着した、真紅の稲妻ジョニー・ライデンの愛機。作中ではジオニック社が製造した一年戦争当時のオリジナルではなく、ユーマがジョニーのためにAE社に作らせた機体。全天周モニターにアームレイカー、リニアシートを装備。最高の部材が用いられている。

MS-14BR
高機動型ゲルググ改
（エメ・ウィルヘッド機）

SPEC
Height／19.2m
Weight／53.3t
Armament／ビーム・ライフル、ジャイアント・バズ、ミサイル・ランチャー、ラッツリパー3連装ミサイル、他

ツイマット社で改修された2機のMS-14BRの1機。BR型はB型の予備パーツと合わせて納入。キマイラ隊の技術支援隊ヒュドラによってB型がBR型に改修されている。機体番号022。

MS-14BR
高機動型ゲルググ改
（ジーメンス・ウィルヘッド機）

SPEC
Height／19.2m
Weight／53.3t
Armament／ビーム・ライフル、ジャイアント・バズ、ミサイル・ランチャー、ラッツリパー3連装ミサイル、他

ゲルググの開発元であるジオニック社ではなく、ツイマット社がパイロットの要求水準を満たす形で開発を担当した機動性能向上型。脚部の装甲を外し、推進器をさらに大型化した。機体番号は017。

キマイラ隊第二小隊

U.C.0090現在、第二小隊の隊長、ジーメンス・ウィルヘッドを中心にキマイラ艦が暗礁宙域を遊弋。連邦軍・ジオン軍残党勢力を問わず、接近するあらゆる武装勢力を排除している。

エメ・ディプロム中尉のパーソナルマーク

カラカル隊のクリストバルのパーソナルマーク

現在のクリストバルのパーソナルマーク

暗礁宙域のキマイラ第二小隊。クリストバル機の肩にはパーソナルマークが描かれている。

MS-14BR
高機動ゲルググ改(ガーニム・ムフタール機)

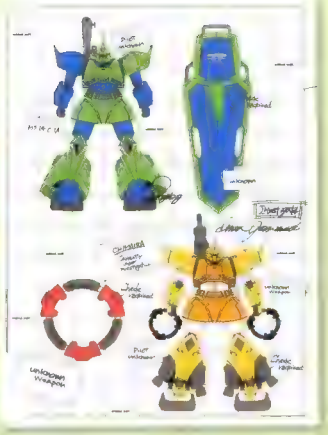
旧キマイラ隊パイロット「我らが盾」ガーニム・ムフタールの機体。巨大な盾を装備している。

SPECS
Height／19.2m
Weight／56.2t
Armament／ビーム・ライフル、ジャイアント・バズ、ミサイル・ランチャー、ラッツリバー3連装ミサイル、シールド、他

MS-14C-1A
高機動型ゲルググ(マイヤー・メイ機)

旧キマイラ隊パイロット、マイヤー・メイの機体。近接戦闘用の特殊兵器ビーム・チャクラムを装備している。

SPECS
Height／19.2m
Weight／53.3t
Armament／ビーム・ライフル、ジャイアント・バズ、ミサイル・ランチャー、ラッツリバー3連装ミサイル、ビーム・チャクラム他



ザンジバル改級キマイラ

SPECS
Height／unknown
Weight／unknown
Armament／unknown

ザンジバル級の船体後方に大型のタンク4基とMS格納庫が一体化した専用カーゴ・ユニットを増設。機動空母として運用された。キマイラ隊の母艦で、一年戦争の後、消息不明となっていたが、今だに隊員達の手によって運用され続けている。

SPECS
Height／255m
Weight／24,000t
Armament／unknown

ザンジバル級機動巡洋艦
サングレ・アスル

ブラント船ミナレットの位置を示す航法装置を搭載した艦。現在はFSSとキマイラ隊の管理下にあり暗礁宙域の「莉の園」に係留されている。船体が青く塗られている。キマイラ隊所属のザンジバル級機動巡洋艦。

RGM-79V
ジム・ナイトシーカー（ヴァースキ機）

空挺部隊用として開発され胸部に背面のランドセルにスラスターとプロペラントを増設　特務部隊ナイトイェーガー隊のヴァースキ機はジムⅢベース、僚機はシムⅡをベースとしている。

SPEC
Height／18.0m
Weight／46.7t
Armament／バルカン砲×2、ビーム・サーベル、ビーム・スプレーガン、フェダイン・ライフル、海ヘビ他

FA-78-2
ヘビーガンダム（イングリッドO機）

SPEC
Height／18.4m
Weight／Unknown
Armament／ビーム・サーベル、肩部ビームキャノン、フレーム・ランチャー、専用ビーム・ライフル、専用バズーカ、他

FA-78-2ヘビーカンダムの全規模試作機のうち現存する二号機をベースに近代化改修が行われた。各部所のアップデートに加え、グリプス戦役で実用化されたバイオセンサーを搭載。

RGM-79KC
ジム・インターセプトカスタム

SPEC
Height／18.0m
Weight／51.7t
Armament／R-4ビーム・ライフル、ビーム・スプレーガン、ビーム・サーベル、バルザック式360mmロケット・バズーカ、ミサイル・ランチャー

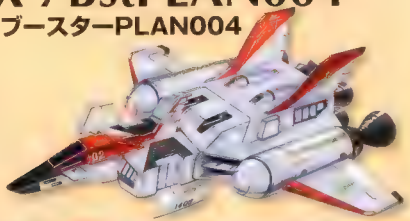
ジム・スナイパーカスタムの後期生産型を改修し、フェロウ・ブースターを装着して中間迎撃に用いられた。ウェイライン隊に配備され、ジョニー・ライデンのMS-14Bと交戦。

FA-78-2
ヘビーガンダム（二号機）

SPEC
Height／18.4m
Weight／52.2t
Armament／ビーム・サーベル、肩部ビームキャノン、フレーム・ランチャー、専用ビーム・ライフル、専用バズーカ、他

一年戦争末期、増加ウェポンシステムを装着したFA-78-1をベースに再設計した機体。　戦後に開発が再開され3機が生産された（4機とする説もある）が、制式採用には至らなかった。

FFX-7BstPLAN004
コア・ブースターPLAN004



SPEC
Height／unknown
Weight／unknown
Armament／25mm機銃×4、ベンシン型ミサイル×4、60mmバルカン砲×2、メガ粒子砲×2

連邦のRXシリーズ開発にあたり、MSの脱出モジュールとして設計されたハービック社FF-X7コア・ファイターの性能を拡張し多目的戦闘機として運用するために開発された。現存する機体をFSSがレストアし、テスト飛行を行なった。

ORX-005
ギャプラン（イングリッドO機）

SPEC
Height／25.2m
Weight／unknown
Armament／ビーム・ライフル×2、ビーム・サーベル×2、ビーム・メガキャノン他

通常のに比べムーバブル・シールド・バインダーが大型化しており、メカ・ランチャーにもなる。

MSM-04
アッガイ

SPEC
Height／19.2m
Weight／unknown
Armament／105mmバルカン砲×4、6連装ロケットランチャー、メガ粒子砲、アイアンネイル他

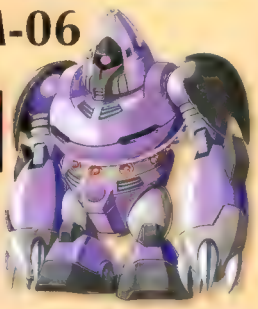
偵察任務に用いられる水陸両用MS。全天周モニターを備え、操作系がアップグレードされている。パイロットはユーマ・ライトニング。

RGM-79HC
ジム・ガードカスタム

SPEC
Height／18.0m
Weight／90.0t（ガーディアン・シールド含む）
Armament／60mmバルカン砲×2、肩部バルカン砲×2、ビーム・サーベル×2、ビーム・ダガー、ビーム・スプレーガン×2、ガーディアン・シールド

ジム・インターセプトカスタムと同じく、ジム・スナイパーカスタムからの改修機で、専用の大型盾ガーディアン・シールドを装備。防御性能の向上が図られた。

MSM-06
ジュリック



SPEC
Height／18.7m
Weight／84.0t
Armament／メガ粒子砲×10、フリージャーミサイル、アイアンネイル×2

量産には至らなかった幻の水陸両用MS。戦後、南海の孤島で調査を行った際、ジャングルの中で暴れ回るジュリックの姿が目撃されている。

RMV-3M
局地戦制圧型ガンタンク

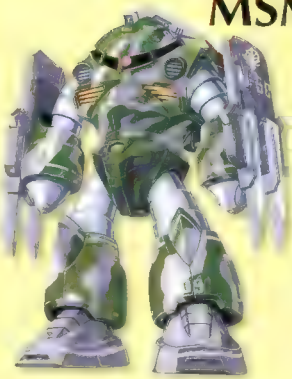
SPEC
Height／13.6m
Weight／72.7t
Armament／120mmキャノン×2、3連装ミサイルランチャー×2、他

RX-75ガンタンク、RMV-1ガンタンクⅡの流れを汲む連邦陸軍の対MS用重戦車。レッド・ウェイラインはレストアが完了したRMV-3M局地制圧型ガンタンクのテストを行っている。

ユーコン級潜水艦

ジオン軍残党のラトヴィッジ艦長の元に他のジオン残党が2隻合流。0083のユーコンと0080のユーコンと1stのユーコンが登場する。細部ではミサイル発射管などか異なる。

MSM-07N
ラムズゴック



SPEC
Height／18.9
Weight／73.5t
Armament／クロー・シールド×2、メガ粒子砲×2、ヒート・ラム、他

ズゴックの改良型。両腕のアイアンネイルを着脱が可能なクロー・シールドに換装　サンクレ・アスルを防衛する軍事会社テミスに送られ、水中部隊として戦線に投入された。

ドム・マーメイド

SPEC
Height／unknown
Weight／unknown
Armament／unknown

水面をホバーリングで高速移動する。水上戦闘に特化したドム。地球に降りたが、関係者不在で途方に暮れていたエメとクリストバルのためにスコットが調達した

MIP社水中試験型MS

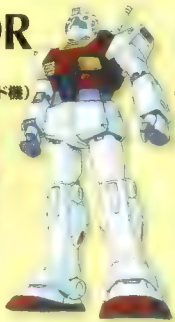
SPEC
Height／unknown
Weight／unknown
Armament／unknown

シオン公国海軍の特務部隊U-47が運用していた特殊戦用MS。基本性能は水中用ザクと大差はないが、静粛性に優れており、海中のソナー情報を撹乱する。

RGM-79R
ジムII
（クリストバル・ラザフォード機）

SPEC
Height／18.1m
Weight／40.5t
Armament／60mmバルカン砲×2、ビーム・サーベル、ビーム・スプレーガン他

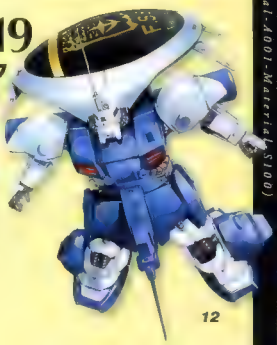
コンペイトウ宙域でサンクレ・アスルの捜索にあたるエメの護衛としてラザフォードが搭乗した



RMS-119
アイザック
（エメ・ウィルヘッド機）

SPEC
Height／18.3m
Weight／41.8t
Armament／射出型データポッド他

偵察用MS。宇宙演習を偽装し、暗礁宙域に打ち上げられたサンクレ・アスルを探す「FSS艦隊の目」。



Gファイター
強襲揚陸型

SPEC
Height／21.4m
Weight／69.8t
Armament／メガ粒子砲×2、ロケット・ランチャー×2、バンカーバスター×2

Gファイター宇宙用をベースに改修された連邦軍の特務部隊専用機。連邦軍第104空挺部隊ミシマ師団が運用している

CB-X5(SGT)
強襲型ガンペリー

SPEC
Height／34.0m
Weight／196.5t
Armament／ミサイル×6(オプション)

V作戦の支援機として開発されたカンペリー。空挺部隊で特務部隊用の輸送機として運用。ナイトイェーガー隊の輸送にあたった。

ネルソン級軽空母

SPEC
Height／228m
Weight／unknown
Armament／メガ粒子砲×6、連装機銃×4、艦首2連装大型ミサイル×8

連邦宇宙軍のサラミス級をベースにカーゴユニットを増設したMS軽空母。最大6機のRGM-79ジムを搭載できる。

YMS-15E
ギャン・エーオース（ユーマ・ライトニング機）

ジオン公国第二期主力MSの競合試作に敗れたYMS-15ギャンの試作機を受領したキシリアの突撃機動軍が、開発元のツィマット社とシオニック社に命じて改修させた機体

1　すがFSSで保管されているMSの中から物色し機体色は着くまりかえる

SPEC
Height／18.2m
Weight／56.8t
Armament／ビーム・ベイオネット、ジャイアント・バズ、専用シールド他

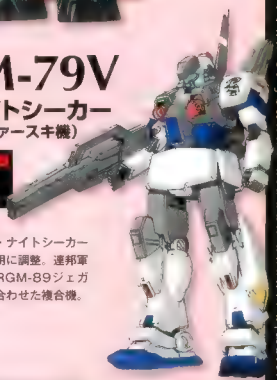
RMS-099B
シュツルム・ディアス（ダントン・ハイレッグ機）

SPEC
Height／18.0m
Weight／61.3t
Armament／ビームキャノン×3、ビームピストル×2、バルカン・ファランクス、ビーム・ライフル、ビーム・サーベル他

アナハイム・エレクトロニクスが開発したリック・ディアスの強化型で背面のバックパックにクライハインダーを装備。火力と機動性能が向上している。

RGM-79V
ジム・ナイトシーカー（宇宙仕様：ヴァースキ機）

SPEC
Height／unknown
Weight／unknown
Armament／unknown



空挺仕様のジム・ナイトシーカーの装備を空間戦闘用に調整。連邦軍の次期主力MS、RGM-89ジェガンのパーツを組み合わせた複合機。

ペガサス級強襲揚陸艦
ブランリヴァル

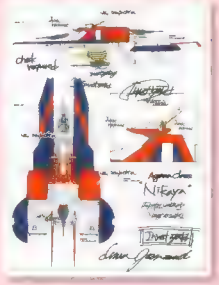
SPEC
Height／unknown
Weight／unknown
Armament／unknown

一年戦争最大の激戦ア・バオア・クーに投入されたホワイトベース級空母。連邦宇宙軍の軍閥で連邦議会議長の職にあるゴップの依頼で、ヴァースキ隊とジョニ子が居候中。

アーガマ級強襲巡洋艦
ニカーヤ

SPEC
Height／unknown
Weight／unknown
Armament／unknown

地上で建造されたが、グリプス戦役の終戦とともに不要となり、塩漬けになっていたものをジル・ブロッケン・フーバーが引き取りFSSの所属艦となった。



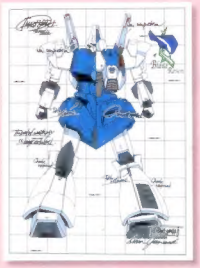
RX-178
ガンダムMk-Ⅱ
（ヴァースキ機）

RX-178ガンダムMk-ⅡはRX-78の後継機としてティターンズが開発。ゴップ議長の依頼を受けたアナハイム主計科局次長フークバルト・サマターはこの時に得たデータを元にRX-178の全パーツを新造したものと思われる。

SPEC
Height／18.5m
Weight／33.4t
Armament／ビーム・ライフル、ジャイアント・バズ、ミサイル・ランチャー、ラップリバー3連装ミサイル、他

RMS-117
ガルバルディβ
（フィーリウス・ストリーム機）

元ジオン少年兵フィーリウス・ストリームが搭乗。左肩には首都防衛大隊のランス・ガーフィールド中佐から受け継いだ「白薔薇」のマークが描かれている。



SPEC
Height／19.0m
Weight／36.3t
Armament／unknown

MSK-008
ディジェ
（シャア・アズナブル機）

コンペイトウ宙域に向けて航行中のムサカ級巡洋艦艦内でアルレット・アルマージュが調整中のディジェ。両腕に装着されたシールドの裏にはシュツルム・ファウストの弾体が4つ。左右あわせて8発を装備している。

SPEC
Height／18.4m
Weight／unknown
Armament／60mmバルカン砲、ビーム・ライフル、ビーム・ピストル、クレードラランチャー、ビーム・サーベル他

サイコフレームのテストベットを兼ねて新生ネオ・ジオン総帥シャア・アズナブルの乗機として組み上げられた。シュツルム・ディアスと同型のグライバインダーと開発中の主力MSギラ・ドーガに採用予定のシールドと腕部パーツが用いられている。コクピットの下には精製に成功したサイコフレームが敷き詰められており、バックアップ用のバイオセンサーに接続。モードを切り替える事でサイコミュシステムが発動する。

Gundam Comics Collection

Ark Performance

月刊ガンダムエース2019年11月号特別付録 分売不可
「機動戦士ガンダム MSV-R ジョニー・ライデンの帰還」
アーカイブブック（Material-A001～S100）